

幌別東小学校

第5回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和4年1月21日（金）18時00分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

○山田会長 それでは時間となりましたので、幌別東小学校区の第5回学校適正配置に関する地区別検討委員会を開催いたします。

過去4回の検討委員会の結果について、ご都合で出席出来ない方もおり、新聞報道された内容がわからないという方もいるかと思っておりますので、私の方からこれまでの経過をまとめ、報告させていただきたいと思っております。

3回目の会議以降は、統合の方向性を持って、統合に向けた課題について具体的な議論を行ってきました。統合にあたっての課題としては、「通学距離・通学時間」、「踏切への対応」、「特色ある教育の継承」、「放課後児童の環境整備」、「統合時の子どもたちへの対応」、この5つの課題をテーマに議論を行ってきましたが、特に前回4回目の会議では、「特色ある教育の継承」、「放課後児童の環境整備」、「統合時の子どもたちへの対応」をテーマに、皆さん方から具体的なご意見をいただきました。

このうち、「特色ある教育の継承」、具体的には幌別地区の駒おどりの取扱いについて、これまで幌別東小学校と地域が協力し、総合学習の一環として実施してきましたが、仮に幌別東小学校と幌別小学校が統合した時に、統合先である幌別小学校で受け入れることが可能なのかという問題がありますので、事前に教育委員会で意向を確認したところ、地域の協力を前提に、特定学年の総合学習やクラブ活動として取り組むことは可能であることが確認できました。それを踏まえて、地域としてどう考えるのかということも議論しましたが、継続的に実施していくとなれば、鉄南地区の協力体制が不可欠であり、保存会の意向が重要になるほか、統合後の幌別小学校で実施するということになれば、鉄南地区だけでなく、中央

地区の協力が必要になりますので、幌別小学校区の皆さんとも話していかなければならない。このため、保存会メンバーはもちろん、幌別小学校区の皆さんも含め、地域での協議を継続していくことで大枠で合意しました。

次に「放課後児童の環境整備」についてであります。行政による居場所づくりのうち、児童館と放課後児童クラブに関しては、教育委員会より、統合を機に両校区の児童館を統合するとともに、新校区の放課後児童クラブを新設し、両機能の併設施設を幌別小学校の敷地内に整備する方向で実施していきたいとの説明がありました。また、放課後こども教室については、幌別東小学校では実施している一方、幌別小学校区では実施していませんので、仮に両校が統合した場合に、どのような形で実施していくのか。教育委員会からは、地域の参画が得られる限りは実施する意向が示されましたので、それを前提に、対象児童や実施場所については、今後も継続協議していくことで大枠で合意しました。特に実施場所については、新たに整備する児童館と放課後児童クラブの併設施設で実施することも可能性のひとつになるのではないかと思います。

最後に、「統合時の子どもたちへの対応」については、教育委員会より、児童が新生活に出来るだけ早く適応できるよう、児童の交流事業の実施や教員配置に関し措置を講ずる考えが示され、その内容について大枠で合意しました。

また、統合後の校舎の利活用については、統合の方針が決定した後に、地区連合町内会として、市と協議していくこととし、前回までに教育環境に関する課題の議論が終了したことから、前回4回目の会議において、統合に合意する決定がなされました。

今回は、統合にあたっての課題への対応方法について、これまで大枠で合意した内容を整理し、再度確認するとともに、統合期日についても議論し、最後にこの委員会から教育委員会への合意文書について決定し、この委員会を終えたいと思っております、ご理解の上で議事進行に協力いただけるよう、よろしくお願いいたします。

それではさっそく会議に入りますが、協議に入る前に、2項目について、事務局より報告を受けたいと思います。1点目は、地区別検討委員会における検討経過についてです。事務局お願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より地区別検討委員会における検討経過について報告がありました。本日は、いま事務局より報告のあった検討経過を踏まえ、統合に向けた課題への対応方法などを再確認するとともに、統合期日に関し検討することになります。これに関し、委員の皆さんより何かありますでしょうか？

(委員の質問等なし)

○山田会長 よろしいですか。質問、ご意見が無いようですので、それでは次に2つ目の報告事項に移ります。校区内の未就学児童保護者と在校生を対象に実施したアンケートの結果について、事務局よりお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局よりアンケート結果について報告がありましたが、私としては、幌別東小学校では、地域色豊かな特色のある教育が行われてきたものと自負しておりますし、保護者の方もそう感じており、統合後の学校でそうしたカリキュラムが引き継がれていくのかということをご心配してらっしゃるのがアンケートからも読み取れます。これについては、私たち委員がそうした思いをしっかり受け止めて対応していかなければならないと思います。その他、委員の皆さんより何かありますでしょうか？

○委員 在校生の1年生～3年生の保護者を対象にしたアンケートについて、やはり一番重要なのは、Q4「あなたのお子さんを少し規模の大きな学校に通わせるにあたり、不安に感じることは何ですか？」だと思います。子どもたちのことを思えば、やはり教育委員会にはこの点に一番留意してもらいたいと思います。やはり大きな学校に行くと集団に馴染めない子も居るかもしれない。先生との関係にし

でも、今まではマンツーマンのような状態だったのが遠くなってしまふ。幌別東小学校の子どもたちは少なからずそうした変化に戸惑うものと思いますので、この点はしっかり心がけていただきたいと思います。

○山田会長 ただいまの質問に対して、事務局お願いします。

○事務局 ありがとうございます。教育委員会としても、学校はもちろん、PTAや地域の皆さんとも協力し、このアンケートの結果なども参考にしながら、統合時に子どもたちが不安を抱かないよう細心の注意を払っていききたいと思います。

○山田会長 それでは次の協議事項に移ります。まず本日は、これまでの議論を踏まえ、統合に向けた課題への対応方法を再確認したいと思います。事務局で資料を用意しているということですので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 統合に向けた5つの課題について、これまで承認してきた対応方法と継続協議していく事項に関し、事務局より説明がありました。また、継続協議事項については、次の段階で組織する協議体などで継続して議論していくとの説明でした。これに関し質問や意見などはありませんでしょうか？

○委員 統合にあたって5つの課題のうち、「放課後児童の環境整備」についてですけれども、幌別東小学校には、行政による取組としては、児童館、放課後子ども教室があり、このうち放課後子ども教室には地域が参画し実施している。また、民間の取組としては、ゆめみ〜るによる子ども食堂や児童クラブがあり、放課後の子どもたちの受け皿がとても充実している。そうした意味で、地域が小学校を支えている部分が他地域に比べても強いものと思います。また、地域の様々な行事に子ども達が参加するなど、学校と地域の結び付きが非常に強い地域だと思います。児童館と放課後児童クラブについては、幌別小学校の敷地内に新施設を建設

するということですが、民間による取組、例えばゆめみ〜による子ども食堂については、仮に幌別小学校と統合した場合にも、鉄南地区の子どもたちに限ることになるかもしれませんが、継続することはもちろん、内容を充実していきたいという声も聞こえてきております。こうした鉄南地区における地域の取組に対し、教育委員会としてどのような支援が可能なのか。教育委員会だけでは判断できないこともあろうかと思いますが、是非お答えいただければと思います。

○山田会長 ただいまの山田委員の質問に対して、事務局お願いします。

○事務局 日頃より地域が一体となって、学校の活動を支援いただいていることにあらためて感謝申し上げたいと思います。実は昨日、ある団体の方から、国の補助メニューを使った子ども達への学習支援、居場所づくり等のお話をお聞きしました。教育委員会としては、こうした事業についても、子どもたちのためになるものであれば、支援を検討させていただくというお話をさせていただきました。ただ、具体的な形がはっきりしておりませんので、現時点で教育委員会としてどのような支援が考えられるのかははっきり申し上げる段階にはありませんが、例えば学習支援であれば、教育委員会のOB教員が学習支援業務に従事しておりますので、指導方法をアドバイスしたり、テキストを提供したりといった支援も考えられるのかなと思います。また、学習支援ということであれば、保健福祉部所管の事業になりますが、生活困窮者支援事業の一環として、学習支援事業に関する国の補助メニューもあると聞いておりますので、事業内容が固まった段階でご相談いただければ、教育委員会だけでなく、保健福祉部なども巻き込みながら、支援のあり方を検討することができるのかなと思います。いずれにしても、事業を継続していくためには、しっかりと先の見通しを付けた上で事業に着手することが重要ですので、行政と一緒に考えるということも重要なのではないかと思います。

○山田会長 ありがとうございます。ただいまの回答に対して、山田委員、何かありますか？

○委 員 ありがとうございます。教育委員会には、国の補助メニューの内容などを調査して、情報提供いただければと思います。いずれにしても、統合後に検討しても遅いと思いますので、統合前から具体的な協議を行わなければならないと思います。

○事務局 昨日お話を聞いたある団体の方のお話では、保健福祉部の方にもしっかりとお話しているということでしたし、そうした事業にもしっかりと経験のある方でしたので、事業内容が詰められた段階で具体的な相談があるものと思っておりますが、その段階で、教育委員会として支援可能な部分をしっかりと整理しなければならないと思います。ただ、財政的に余裕のある自治体ではありませんので、財政的事情も勘案しながら、支援の可能性を検討していくことになろうと思っております。

○山田会長 よろしいですか。他にございませんか。

○委 員 「通学距離・通学時間」について質問ですが、片道2kmは直線距離なのか、通学路を決めて判断するのか。踏切の対応についても、校区内に踏切が2つありますので、このうちの一つを通学路に指定し、利用する踏切を限定するのか。また、駅に近い方であれば、駅の通路を渡った方が近いということもあります。片道2kmというのは、通学路を想定して判断することになるのか、どうなのでしょうか？

○山田会長 ただいまの質問に対して、事務局お願いします。

○事務局 補助制度の詳細に繋がる部分でありますので、細かい部分は継続して、協議させていただくこととなりますけども、基本的には直線距離ではなくて、通学路を想定して、その通学路を使って幌別小学校に登校した場合に、片道何キロになるのかということを考えていくことになると思います。いずれにしましても、細かいところの設定については、引き続き、協議させていただきたいというふうに思

っております。

○山田会長 よろしいですか。ありがとうございます。他にございませんか。

○委 員 通学路についてですけれども、長い区域ですので、通学路を1つか2つに設定した方がいいと思います。行く気になるとたくさんあるんですね、ときめき橋を渡って、下の方の階段を降りるとか、あるいは駅の階段を使うとか、千歳町のところとか、たくさん経路が想定されます。ですので、通学路は早めに設定して、保護者の方々にわかっていただくと、バスはもちろんこのところ（鉄南ふれあいセンター横）を通るのでしょうけど、駅の通路を通った方が近い方もいらっしゃいますよね。2つぐらいに特定をして、後はだめということぐらい整理しないと、交通安全のおじさんも行く場所がたくさんあるとすると、そこに行かなければならない。帰りも学年によってばらばらで帰ってきますので、大変費用もかかるということに繋がっていくと思うので、通学路は早めに示した方が良くと思います。

○事 務 局 委員ご指摘のとおり、踏切で言えば2つあたりですとか、あるいは駅の通路の方が近いと言う方もいらっしゃると思います。この通学距離、通学時間については、来年度も引き続き協議していくこととなりますけれども、その際には、委員からお話があったように、教育委員会から通学路の想定を早めに示して、それを前提にお話させていただきたいと思っております。

○山田会長 よろしいですか。他にございませんか。

○委 員 先のことの質問なんですけど、現段階では、令和6年4月1日の統合が可能ということで動いていると思うんですが、それに向けて、児童館や児童クラブを新設するにあたり、利用する児童が何人ぐらいいて、どのぐらいの規模のものを建てるのか、開校に合わせて、間に合うのかどうか心配なんですけど、予算などもあるでしょうし、規模的なもので、幌小の中にそれだけの規模の建物が建てられる

のかとか、そういった話は、教育委員会の方で進んでいるのか、気になるのですが、どうでしょうか。

○山田会長 ただいまの質問に対して、事務局お答え願います。

○事務局 児童館、児童クラブにつきましては、教育委員会ではなく、保健福祉部の担当になりますが、教育委員会が保健福祉部に任せきりということではなく、教育委員会と保健福祉部で話し合いながら進めているところです。ご心配のところは、児童館の利用者数や児童クラブの利用者数を想定したものが出来るのかどうかということ、また仮に令和6年4月1日の統合ということになりましたら、併せて開設することが可能なのか、さらに幌別小学校の敷地内に敷地を確保することが可能なのかという点かと思えます。まず施設規模については、保健福祉部の方で、児童クラブの登録者数ですとか、児童館の利用者数を想定しながら検討しているところであり、利用者数から想定した規模であっても、幌別小学校の敷地内、現在の計画ではプール跡地になりますが、こちらに整備することが可能であるものと聞いております。次に令和6年4月1日の統合となった場合に、これに合わせて児童館・児童クラブを開設することが可能かということですが、児童館・児童クラブの建設事業については、令和4年度からの事業着手ということになりますので、令和6年4月1日の統合に合わせて児童館・児童クラブを開設することはスケジュール上難しいものと考えております。現在、保健福祉部で事業計画を検討しているところではありますが、令和6年4月1日の統合となった場合には、統合後の数カ月間は両校区の児童館が并存し、その後に、放課後児童クラブが併設された新児童館が、幌別小学校敷地内に開設されることとなります。その点についてはご理解いただければと思っております。

○山田会長 よろしいですか？

○委員 統合と同時に児童館・児童クラブが幌別小学校の敷地内に開設されることを条件に統合を良しとしている保護者も多いと思えますので、令和6年4月に統合

ということであれば、児童館・児童クラブについても、時期を合わせて開設して欲しいというのが、保護者の思いだと思います。学校は令和6年4月1日に統合されるけども、放課後の子どもたちの行き先はバラバラというのは違うと思いますので、その点はきっちり対応していただきたいと思います。もう一点、通学距離の問題についてですが、片道2kmにわずかに満たない地域の取り扱いなどに関しては、継続して協議していくとのことですが、いつまで協議することになるのでしょうか？

○山田会長 ただいまの質問に対して、事務局お答え願います。

○事務局 まず、通学距離と通学時間についてお答えしますが、片道2kmに満たない地域の取り扱いについては、令和4年度中の議論で結論を出したいと思っております。仮に令和6年4月1日の統合でしたら、5年度は1年間準備期間ということになりますので、4年度中には議論して結論を出し、保護者の皆様に安心していただけるように対応させていただきたいと思っております。次に、児童館と児童クラブについてですが、新たな施設を建設するとなると、建設前に設計期間を要することはもちろん、建設期間も一年弱かかることになりますので、令和6年4月1日に児童館・児童クラブを開設するのは困難な状況です。ただ、保健福祉部としても、令和6年9月には幌別小学校敷地内に児童館・児童クラブを開設する方向で計画しており、市長部局としても、年度を超えて、同じ小学校の子どもたちが別々の児童館を利用することが無いよう、しっかり取り組んで行くものと思います。

○山田会長 ありがとうございます。よろしいですか。

○委員 そうであれば児童館・児童クラブを整備した後に統合ということで良いのではないのでしょうか。急いで令和6年4月に統合する必要はないと思います。子ども達の事を考えて1年でも早くと言いますが、子どもたちにとっては、統合時期が1年遅くなっても大きな影響は無いと思います。共働きの親が多いこともありま

すし、近所との付き合いが希薄になっているということもありますので、子どもたちが放課後に危険なく過ごせる場所を確保してから、統合でも良いのかなと思います。

○山田会長 ただいまの質問に対して、事務局お答え願います。

○事務局 幌別東小学校の統合時期ということになるかと思いますが、これについては協議事項の（２）で、資料を用意してお話しようと思っておりました。今までの意見交換会では、統合するのであれば、早めに統合して欲しいという意見があったりですとか、一方で、委員がおっしゃるように、放課後児童の環境整備の部分をきっちり整備してから、統合すべきではないかというご意見もあろうかと思えますので、次の（２）のところで議論していただければと思います。あくまで令和6年4月1日というのは、議論の進捗状況から逆算したら可能という事務局の提案ですので、これで決定ということではありません。時期も含めて議論していただければと思います。

○山田会長 よろしいですか。他にございませんか。無いようですのでおさらいして見ましょう。まずひとつは、民間による放課後の居場所づくりの取組について、鉄南地区の子どもたちを支える事業を継続することはもちろん、その内容をより充実していく時に、教育委員会をはじめとした行政としてどのような支援が考えられるのか。この点については、事業内容が具体的にになった時点で、支援のあり方を検討するという説明がありました。次に、通学路の問題についてですが、これについては、早い段階で通学路を示した上で安全対策を考えることが必要との指摘がありました。最後に、児童館・児童クラブについて、仮に令和6年4月1日の統合となった場合には、これに合わせた開設は困難との説明がありました。これについては、統合時期とも関わりますので、次の協議事項で議論することとします。その他、統合に向けた課題への対応方法については、事務局から説明があった内容でよろしいものと思います。続きまして、幌別東小学校の統合時期についてありますが、これについても、事務局で資料を用意しているということですので

説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 当初は令和7年の統合を想定していたのですが、統合が決まってから3年間は長いのではないかと、統合するのがわかっているのであれば、出来るだけ早い時期ということで、1年早めて令和6年。先ほどの意見は、統合時期ではなくて、統合するまでに必要な設備は作ってもらえますかという質問だったと思います。それに関連して、出来ないのであれば、統合を1年伸ばしても良いのではないかと強い意見でした。ただ、統合時期を先送りするというのが主旨ではなく、あくまでも令和6年4月までに児童館・児童クラブを開設すべきという意見だったと思います。事務局から、令和6年9月には開設できるとの説明があったわけなんですけれども、これに関し質問や意見などはありませんでしょうか？

○委員 令和6年4月1日に統合するという方向で進んでいますけれども、環境整備の方が先だなと思っています。統合を急ぐことによって、弊害が生じることを懸念しています。

○山田会長 現在の計画では令和6年9月完成ということですから、委員の意見からすれば、令和7年4月1日統合ということになるんですけども、この件についてもう少し皆さんの意見を聞きたいと思います。

○委員 令和6年4月1日の統合だとしても、令和4年度と5年度の2年間を環境整備に充てることができますので、開設時期を早めることができないのかいま一度検討する必要があるかと思います。また、児童館の開設が統合に間に合わないということですが、その間、児童館が無くなるわけではありませので、少し冷静に考える必要があるかと思います。それよりも私が危惧しているのは津波の問題です。東日本大震災の際には、海沿いの小学校に甚大な被害が生じました。幌別東小学校の場合、海に近く、且つ線路があるので迅速に逃げるのが難しい。

東日本大震災の悲惨な状況を考えれば、一刻も早く統合する必要があるかと思
います。そうした意味でも、私としては令和6年4月に統合すべきと考えます。

○山田会長 ありがとうございます。学校統合を良しとした背景には津波の問題もありまし
た。幌別東小学校は海に最も近い立地にあり、万が一東日本大震災のようなこと
があれば、確実に子どもの命を危険に晒してしまう。地域にはそうした防災上の
心配から統合を良しとする方も多い状況ですので、そうした観点からの意見だっ
たと思います。

○委 員 会長がおっしゃったように、防災上問題がある立地ですので早く対処しなけれ
ばならないというのわかります。また、学校に通っている子どもたちの保護者
の皆さんの意見もわかります。なかなか難しい部分があるかと思えます。

○山田会長 施設ができるまで待つのか、それとも安全を考えて一日でも早いほうが良いの
か、いかがでしょうか？

○委 員 現在、幌別東小学校区には放課後児童クラブが無い状況で、特にひとり親家庭
などにとっては不便な状態にありますので、統合するのであれば、設備がしっか
り整った状態での統合の方が親としては安心かなとは思いますが。

○山田会長 確かに行政による放課後児童クラブは無い状況ですが、幌別東小学校区では、
ゆめみ〜るが独自に放課後児童クラブを運営していて、現在5名の方が登録され
ています。確かに、児童館・児童クラブの開設と統合時期がずれることによって、
保護者にとっては不便なこともあろうかと思いますが、開設までの5カ月間につ
いては、これまでどおりゆめみ〜るの放課後児童クラブを利用させていただくなど
の対応になろうかと思えますが。

○事 務 局 児童クラブについては、小学校区を対象にして開設されていますが、現在、幌
別小学校区には常盤児童クラブがあるのに対し、幌別東小学校区には公営の児童

クラブはないという状況です。しかし、両校が統合すれば、確かに新施設の開設に関しては9月まで待つこととなりますが、統合によって、鉄南地区の方たちは常盤児童クラブを利用することが可能になります。確かに統合から5カ月間は少し遠い場所となりますが、令和6年4月に統合することによって、いち早く放課後児童クラブの利用が可能になるというプラス面もあることを理解いただければと思います。

○山田会長 　　ただいま事務局から、場所は遠いけど、幌小として児童クラブは確保されているという説明がありました。

○委　　員　　先ほど、委員がおっしゃったことは重要だと思います。津波は明日来るかもしれない。今日、帰りがけに来るかもしれない。いつかは全くわからない。だとして1日でも早く統合すべきなのではないか。私が保護者だとして、何とか1日でも早く統合するよう皆さんに訴えたいと思います。委員のおっしゃることはよくわかりますけれども、既存の施設がある訳ですから、それを利用し、子ども達は令和6年4月1日から安全な場所に行くというのが良いのではないのでしょうか。

○山田会長　　ありがとうございます。その他にございませんか。

○委　　員　　幌別東小学校と幌別小学校の海拔は同じですので、幌別東小学校が危なくて、幌別小学校に行ったから安全という考え方は成り立たないと思います。もし津波への対応を考えるのであれば、統合に合わせて新小学校を高台に建設すべきだと思います。今回は津波への対応を主眼としたものではないわけですし、津波の心配が全くない施設に移るわけでもないわけですから、保護者の皆さんが心配に思っている以上、津波への備えを理由に1年早く統合するというにはならないのではないのでしょうか。

○山田会長　　委員がおっしゃるように、海拔は同じですので幌別小学校の方が絶対に安全か

たとえば判断が難しいところではありますが、幌別東小学校と幌別小学校では海からの近さが違います。いずれにしても、決まった以上は早く実施した方が、保護者にとっても対応しやすいのではないかとということで、前回の委員会では、委員の皆さんからも早めにという意見が出され、事務局からは、逆算すると令和6年4月1日の統合が可能という回答があったところでした。ただ、設備だけは5カ月ほど遅れますということなんですけども。前回からの皆さんのご意見を踏まえれば、なるべく早くということで、令和6年4月ということになるんですけども、いかがでしょうか？

○委員 会長がおっしゃるように、統合することを決めたからにはもちろん早くした方が良いとは思いますが、6年生のことを考えると、統合後も5カ月間は別々の遊び場となってしまう、残る7カ月しか同じ児童館を使うことができず、幌別小学校の子どもたちと仲良くなる機会を失ってしまうことになります。その5カ月間に、旧校区の児童館をお互いに利用可能なかはわからないのですが、そうした制約がある中で、子どもたち同士が仲を深められるのか、やはり旧幌別東小学校の児童だからというようなことを言われることに繋がりがねないので、統合に合わせて開設すべきだと思いますし、間に合わないのであれば、令和7年4月の統合にすべきだと思います。もう一点、津波については、今回統合を検討しているのは津波への備えが理由ではなく、児童数の減少を理由とするものなので、もちろん付加的な要素としてはわかりますが、それを理由に統合の時期を議論するのは違うのかなという気がします。

○事務局 津波については、プラスアルファの議論として皆さんからご意見がありましたけれども、教育委員会としても、ランドデザインの中で統合を想定したのは、児童数の減少が理由ですので、これに関しては、我々からのコメントは差し控させていただきます。児童館につきましては、仮に令和6年4月1日の統合になった場合、9月までの5カ月間については、幌別児童館と常盤児童館がそれぞれ継続する形になるんですけども、今までは別々の校区でしたので、別の校区に遊びに行くということ自体が禁止されており、それぞれの校区の児童館を利用す

ることになっていましたけれども、ひとつの校区になれば、新児童館開設までの5カ月間は、両方の児童館が利用可能になります。鉄南地区の子ども達は、少し遠いですがけれども、現在の幌小校区の子ども達と一緒に常盤児童館に行くことが可能ですし、逆に現在の幌小校区の子ども達が幌別児童館に行くことも可能になります。ですので、児童館が別々だから子どもたち同士が仲を深められないというのは少し違うのではないかと思います。

○山田会長 委員どうぞ。

○委 員 現在、幌別東小学校区には放課後児童クラブがありませんので、学童保育の代わりとして、児童館への直接来館という手段をとることによって、事実上、児童館が学童保育の代わりになっている面があります。しかし、統合と同時に児童館・児童クラブが開設されなければ、そうした子どもたちは幌別小学校から幌別児童館に直接来館することになり、住む場所によっては自宅から非常に遠い場所に行かなければならなくなります。常盤児童クラブが利用可能になるとは言いますが、現在の空き状況から希望者全員が利用できるのか、また、家庭の事情によって児童クラブを利用できない児童もいるのではないかと思いますし、お迎えが必須である児童クラブの場合、家庭環境によっては利用できないケースもでてくるのではないかと思いますので、学校統合の時期と児童館・児童クラブの開設時期は合わせるべきだと思います。

○山田会長 ただいまのご意見に対し、事務局お願いします。

○事 務 局 放課後児童クラブが無い幌別東小学校区において、事実上、児童館が学童保育のように利用されているのだとすれば、仮に令和6年4月1日の統合とした場合には、統合から新児童館開設までの5カ月間は、幌別小学校から遠隔地にある幌別児童館まで戻らなければならず、住む場所によっては、負担が増すのは確かだと思います。ただ、さきほども申し上げたように、統合によって、新児童館・児童クラブ開設までの5カ月間は、常盤児童クラブを利用することができますので、

もちろん家庭環境によって利用できる場合とできない場合はあろうかと思いますが、児童館への直接来館というイレギュラーな方法に拠らずとも、学童保育が確保されることとなります。また、常盤児童クラブの空き状況についてですが、保健福祉部の所管になりますので、ここで空き状況を明確に申し上げることはできませんが、定員上限まで達しているとは考えにくく、鉄南地区の子どもたちがまったく利用できないということにはならないと思います。

○山田会長 現在、幌別東小学校区には放課後児童クラブがありませんので、統合以降は、新児童館・児童クラブの整備が遅れるとしても、既存の常盤児童クラブの利用が可能になる。ただ、児童館の直接来館の方がある意味では利便性が高い部分もあって、そうした意味では、統合と同時に敷地内に新児童館が整備されないことで不便が生じるケースもある。どちらも一長一短があり、結局のところはどちらを選択するのかということになるろうかと思いますが、委員会として結論を出さなければなりません。いかがでしょうか？

○委員 施設の内容とか児童館や放課後児童クラブの仕組自体、よくわかっていないところがありますので、意見は控えさせてもらいたいと思います。

○委員 教育長にお聞きします。児童館・児童クラブは教育委員会の所管ではないので回答も難しいとは思いますが、令和6年4月1日に開設するとしても、まだ2年以上の期間があるわけで、なんとか開設時期を前倒しできないものなのでしょうか？

○山田会長 工事を早めることはできないのかという質問ですが、教育長、いかがですか？

○教育長 児童館・児童クラブの整備については、現在、保健福祉部を中心に検討中です。建設にあたっては、プールを解体し、その後に建物の建設に入っていく。また、国の補助制度を活用することになりますので、そうした手続きに時間を要することも予想される。そうしたことを検討した結果、開設時期は令和6年9月になっ

てしまうということだと思います。ただ、先ほど話がありましたように、現在、幌別東小学校区には放課後児童クラブがありませんので、学童保育に関しては、ゆめみ〜るさんのサービスにお世話になっている。その部分は児童館・児童クラブが開設するまでの間は当然やっていただきますし、また、ゆめみ〜るさんについては、学童保育だけでなく、多様な子ども達への対応をしていただければなど考えておりますので、その辺も含めて議論していただければと思います。

○委 員 建設を前倒しして開設時期を早めることができないのか、再度、市内部で検討できないものなのでしょうか？

○事務局 なるべく早く開設したいというのは私どもも同じなのですが、プールの解体や建設期間はもちろん、補助申請や予算計上のタイミングなどを考えた結果、令和6年9月の開設を見込んでいるところであり、現時点でこの時期を早めるということを確認するのは難しいと思っています。

○山田会長 実は、来週月曜日に、児童館・児童クラブの関係で保健福祉部と話をすることになっておりまして、恐らくは学校の統合時期と児童館・児童クラブの開設時期がずれることになるので、その間、ゆめみ〜るで学童保育の部分を引き続きお願いしたいという話なのではないかと思っています。そうした意味で、行政としても、統合時期と開設時期がずれてしまうことへの対応はしっかり考えていることと思います。

○委 員 建設に時間がかかるのは致し方ない部分があると思います。もともと令和7年の統合という話だったと思いますので、児童館・児童クラブの開設が遅れるのであれば、令和7年4月の統合ということで良いのではないかと思うのですが。

○山田会長 令和7年にずらしたらどうかということなんですけれども、これまでの議論で、統合を決定してから3年というのは長すぎるのではないかということで、1年早めて令和6年という方向で話しておりましたので、ここにきて令和7年に立ち戻

るというのはどうだろうかという思いもあります。確かに、その時点では環境整備の話はしておりませんで、今回新たに児童館・児童クラブの開設時期の話が出てきたわけですが。

○委員 児童館・児童クラブの開設時期が具体的にわからない段階では令和6年4月という方向で進んでおりましたが、今日の議論の中で、開設時期は令和6年9月になるということがわかったわけですから、そこは臨機応変に令和7年4月に変更してもいいのではないのでしょうか。津波の問題も持ち出されていましたが、いつくるかわからないものですので、児童館・児童クラブの開設時期に合わせて1年遅らせるということでもいいのではないかと思います。

○山田会長 いつくるかわからないと言いますが、やはり安全確保を抜きに物事を考えてはならないと思いますが。

○委員 防災が重要なのはわかるのですが、子どもたちが安心して生活できるよう環境を整備することも重要だと思います。令和6年4月の統合時期はもう変えられないということなののでしょうか？

○委員 いまここで統合期日を決定しなければならないのでしょうか？

○山田会長 今日で委員会は終了の予定ですので、委員会の意見として統合期日まで決めなければなりません。

○委員 この委員会が終了し後に別の委員会が立ち上がるんですね。そちらの委員会で議論するということではだめなののでしょうか？

○山田会長 新しい委員会で議論するのは詳細部分になりますので、統合期日といった基本部分については、この委員会で、保護者や地域の結論を出さなければなりません。

○委員 条件付きにして決めればいいのかではないでしょうか。それでなければ終わらないと思います。やはり保護者の意見が一番重要だと思うので、保護者の意見に沿って決めるべきだと思います。保護者が盛んに意見を言っているのに、なぜスケジュールを先に決めようとするのでしょうか？

○山田会長 スケジュールが先ではなくて、これまで諸々議論をしてきた結果の話をしているんです。これまでの議論を踏まえて、統合期日を決めたいということですので、スケジュールありきということではありません。

○委員 決めることは良いんです。ただ、不安だと言っている保護者がいるのに、なぜ令和6年4月1日にしなければならないのでしょうか。

○山田会長 保護者からのアンケートでも、統合するのであれば早期にという意見がありました。また、意見交換会でも、来年から1年生は幌別小学校に行かせて欲しいという意見もありました。そうしたことを踏まえて、令和6年4月の統合ということを申し上げております。

○委員 少なくとも本日の会議では、保護者から令和6年4月にこだわる意見はありません。それなのにどうして令和6年4月にこだわらなくてはならないのか。

○山田会長 あくまでも過去4回の委員会の中で出された意見を踏まえて話をしているだけですので。

○委員 以前の会議で決まっているということであれば、今日のような議論にはならないはずですよ。

○山田会長 その時点では、児童館・児童クラブの開設時期が具体的に示されておりましたので。

○委員 今日の議論で開設時期が明らかになったのだから、統合時期を変更するというのは自然なことではないでしょうか。統合時期を令和7年4月にしたら何か問題があるのでしょうか？

○山田会長 この件について、事務局よりお願いします。

○事務局 教育委員会としては、これでなければならないという考え方はありません。ただ、意見交換会などで聞かれた保護者の声、統合するのであれば早い方が良い、こうした意見を総合的に考えて、令和6年4月1日の統合という提案をさせていただきましたが、委員の言うように、子どもを預ける上で不便も出てくると思います。そういった意味で総合的に判断して欲しいなという部分はございます。ただ、令和7年4月の統合とした場合に、統合が決まっているなら、先行的に幌別小学校に通わせてほしいという声が多く出てくるのではないかとということをお心配しています。学校運営を考えても、一部の子どもたちを特別扱いして、幌別小学校に通うことを認めるということではできませんので、その時に保護者の不満が大きくなるのではないかとということをお危惧しているところです。ただ先ほども申し上げたように、令和6年4月1日が絶対ということではありませんので、この委員会の意見を踏まえて、最終的に教育委員会として判断させていただくことになります。

○山田会長 ありがとうございます。皆さん方のご意見を尊重して、教育委員会として決めますということです。委員の皆さんが令和7年にということであれば、その意見を尊重して、教育委員会が最終的に判断することになろうと思います。ただ、児童館・児童クラブは、教育委員会の所管施設ではありませんので、開設時期を前倒しし、令和6年4月に間に合わせるという可能性も残っているのかなと思います。ですので、児童館・児童クラブの開設が間に合うのであれば、統合時期も令和6年4月1日、開設が間に合わないのであれば、1年延ばして令和7年4月1日ということかどうかと思いますが、いかがでしょうか？

○委員 1年生から3年生の保護者を対象としたアンケートの結果を見ても、大きな学校で子どもたちを早くなじませたいという意見が多いですし、統合の時期を早く示して欲しいという意見も多い。このアンケートの結果を考えても、児童館・児童クラブの開設時期にこだわって、統合を1年遅らせるのは良いことではないと思います。このアンケートの結果も踏まえて、決定すべきだと思います。

○山田会長 山田委員から、アンケートの結果も踏まえて判断すべきじゃないかという意見がありましたが、過去に意見交換会を行った時も、統合するのであれば、できるだけ早い方が良いという意見がありました。場合によっては、住所を変えてでも、幌小に行きたいという保護者の方もいたかと思います。ですから、アンケート結果を踏まえても、決まったらできるだけ早く、学校を再編させたいという保護者もいるということですよね。にもかかわらず、関連する設備が完成していないということで、統合を1年延ばすという判断が妥当なのかは疑問があります。

○委員 児童館の機能は生きている訳ですから、そこにこだわって統合を1年遅らせるということにはならないのではないのでしょうか？

○委員 いろいろと意見があろうかと思いますが、やはり子どもにとって何が一番良いのかを考えるべきだと思いますし、そうした意味では、保護者の皆さんの意見を尊重すべきだと思います。ですので、先ほど会長がおっしゃったように、児童館・児童クラブの開設が間に合うのであれば令和6年4月1日、間に合わないのであれば令和7年4月1日ということによろしいのではないのでしょうか？

○山田会長 これ以上会議を伸ばすのも良くないので、私が先ほど言ったような形で、児童館・児童クラブの開設が間に合えば令和6年4月、間に合わないのであれば令和7年4月という案について、事務局の意見を聞きたいのですが。

○事務局 先ほど申し上げたように、教育委員会として、令和6年4月1日にこだわっている訳ではありません。保護者や地域の意見を踏まえて決定したいということで、

皆さんにご議論いただいているわけですから、会長がおっしゃったように、施設の整備が間に合うのであれば令和6年4月1日の統合、間に合わなければ令和7年4月1日の統合という結論がこの委員会に出されるということであれば、それを踏まえて教育委員会として、最終的に判断させていただきたいと思います。

○山田会長 ありがとうございます。そういうことで、この委員会としては、そういう結論で終わりたいと思うんですけども、よろしいですか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 ありがとうございます。続きまして、教育委員会への合意文書についてですが、これについては、今のような形で統合時期が変わったんですけども、そういった形で合意文書を作成できますでしょうか？

○事務局 皆さんにお配りしている案については、何年何月何日という形で明確に期日をうたっておりましたが、これまでの議論を踏まえて、会長と相談の上、条件付きで令和6年4月1日または令和7年4月1日とする内容で修正させていただきます。ただ、本日が最後の委員会となる予定ですので、最終的な文言に関しては、会長に一任いただければと思います。

○山田会長 文言の修正については、会長に一任していただくということでよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 ありがとうございます。その上で、事務局より合意文書の内容について説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より、教育委員会に対する合意文書に関し説明がありました。内容としては、これまで議論してきた課題への対応方法などを合意条件として列記する形となっております。合意後においても、委員会で議論してきた内容と異なる方向に進むことが無いようにしなければならないと思っております。合意文書のうち修正部分以外については、この内容でよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 ありがとうございます。合意文書のうち、統合期日に関する修正箇所については、会長に一任いただき、修正後にあらためて皆様にお配りしたいと思います。それでは、この委員会で議論すべきことがすべて終了しましたので、委員長の責務を終えさせていただきたいと思えます。

最後になりますが、東小学校はまさに地域の学校として、学校が地域にあると地域もいろいろと変わるといふか、いろんなことができるということを実証してきた学校だと思います。ただ、子どもの教育のことを考えると、複式学級が生じてしまっているのかということもやはり地域として考えなければならない。そういうことで、幌小と統合して、子どもたちには多くの友達を持って、勉学に励んでいただきたいということで議論してきました。私としては、皆さんから積極的なご意見をもらった中で、時代の流れに沿った結論を出すことができたのかなと思っております。ただ、地域から子どもが居なくなるという訳ではありませんので、地域は地域なりに考えて、子どもたちと一緒に楽しんだり、活動できるような場を考えて、また新たなことをやっていければ良いのかなと思っております。道筋はできたと思えますので、ここからは教育委員会にお任せして、新しい協議体を作って、本当に子どもの教育を考えていただければいいのかなと思えますので、よろしくお願ひします。

○事務局 山田会長、ありがとうございます。それでは最後に、委員の皆様へのお礼の言葉として、武田教育長より一言ご挨拶申し上げます。教育長、よろしくお願ひい

たします。

○教育長　まずは大変お忙しい中、地区別検討委員会の議論に参加いただいたことに感謝申し上げます。さて、登別市教育委員会では、本年8月、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」を策定し、今後35年間における学校配置のあり方をお示ししました。幌別東小学校区においては、グランドデザインで令和7年度までの統合が想定されたことを踏まえ、昨年10月、保護者や地域住民有志の皆様により地区別検討委員会が組織され、本日まで5回にわたり、同校の今後のあり方や統合の是非、統合に向けた課題への対応策などに関し議論が重ねられてきたと聞いております。現在、幌別東小学校では、教員の努力や保護者のご協力により、家族的な雰囲気の中で良質な教育が提供されており、保護者の皆様にとっては、同校への愛着も一入であろうと思っておりますが、今後の児童数の減少を考えれば、近い将来、望ましい教育環境を維持しきれない状況になることも予想されるところです。学校は子どもたちの学びの場としてだけでなく、地域社会においても重要な役割を担っており、学校統合には慎重な議論が必要と認識しておりますが、一方で、子どもたちの学びを支える我々には、子どもたちの教育環境としてどうあるべきかを第一に考える責務があるものと考えております。委員の皆様におかれましては、幌別東小学校に強い愛着を持ち、統合による地域への影響を強く懸念しつつも、(そうした愛着や懸念を超え)教育環境としてどうあるべきかを考えた結果、地区別検討委員会として統合に合意する決定を行ったものと理解しており、教育委員会としてこれに深く感謝することはもちろん、子どもたちを第一に考える姿勢にあらためて敬意を表するものであります。教育委員会といたしましては、本年3月中には、幌別東小学校の統合に関し最終的な決定を行う予定であります。検討にあたっては、地区別検討委員会における議論の経過を十分に踏まえることはもちろん、来年度に予想される詳細条件の検討段階においても、新たな協議体での議論を通じ、十分に保護者や地域住民の皆様と意見を交わして参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。最後になりますが、お忙しい中長期間にわたり本当にありがとうございました。

○事務局 皆さんありがとうございました。来年度以降、継続協議になった事項も含めて、詳細な事項を詰める協議体を新たに設置いたします。その際には、保護者の皆様、地域の皆様に再度ご協力いただくことになろうと思っておりますので、よろしく願いいたします。本日も長時間にわたりありがとうございました。